

《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》

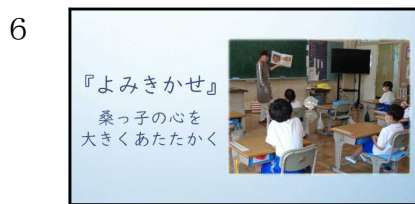
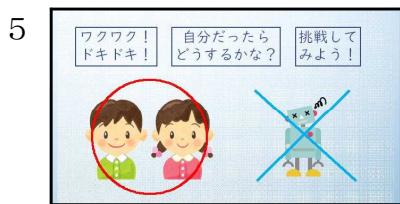
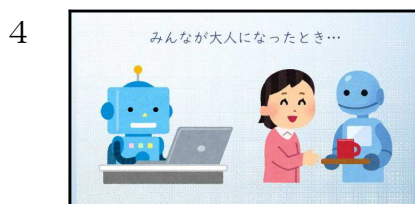
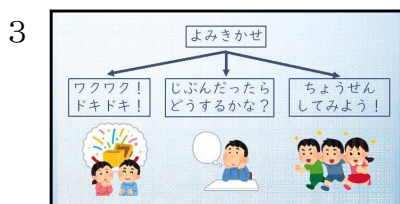
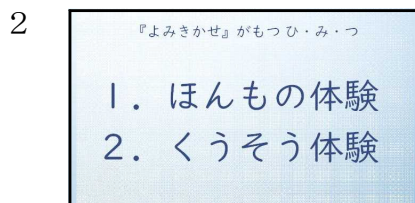
読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年7月6日 文責 渡邊

7月1日(金)の朝会で、新しく読書活動推進リーダーとなった第6学年の金原一花さん、若林柚羽さん、高橋理桜さん、大門由依さんが全校児童を前に自己紹介と自分たちが書いた「読書推せん文」の発表を行いました。

リーダーたちの発表からは、「あの人に伝えたい」という熱い思いが伝わってきました。今回の発表から、「好きな本を自分が読んでほしい特定の人にすすめる文章を書くことによって、自分の感動を言語化し、思いを伝えるための考える力、表現力を育みます」というねらいに迫ったことが感じられました。

次に、図書担当の江川教諭の話がありました。江川教諭は、『よみきかせ』のひみつ」というタイトルで、「読み聞かせ」の効果について分かりやすく映像を用いて話をしました。



【発表するリーダー】

江川教諭は最後に、「読み聞かせを通して、桑っ子の心が大きく温かくなるとよいなと先生は思っています。」という文言で終わりました。

本校では、地域の「マルベリー」の皆さん、「ふうせんかづら」の皆さん、保護者の皆さん、そして教職員が「読み聞かせ」に取り組んでいます。

こうした温かな取組が、子供たちの優しい心の育成につながっているものと思います。児童自身がこれから「読み聞かせ」に取り組むとき、きっと今日の江川教諭の話が思い出されることでしょうね。

子供たちの健全な成長を目指して、学校、家庭、地域社会が協働で取り組むことは大切なことです。これからも応援をよろしくお願いします。



【江川先生の話の様子】

「保護者の声」より

私は小さいとき、『少年ジャンプ』『コロコロ』『りぼん』『なかよし』等の漫画を読んでいた。服にも興味があった時を思い返すと、『ノンノ』『エッグ』『キャンキャン』など、それも読書に入りますか？田舎に住んでいながらも都会の情報を本(雑誌)から得られることは刺激があり、いつもわくわくしていました。文字を読むことが得意な人は、文字で上記のような感想が得られるのであれば、それはうらやましいことだとも思いました。(6年生保護者)

子供たちが普段利用している図書室の様子を知ることができてよかったです。司書さんの工夫がとてもよく分かり、私も利用してみたいです。(2年生保護者)

家では、「クイズ2000」という本で、子供も大人もクイズを出し合ったりして、遊んでいます。仕事で疲れて帰宅したパパでも、クイズを負けまいと答えようと笑顔になります。本によってこの一時が生まれたことは素晴らしいことだし、こんな日々が続いてくれたらいいなと密かに思いました。(6年生保護者)

私は海外旅行が好きなので、英語の参考書を毎日読んでいます。CDで発音を聞いたり、1つの日本語訳から様々な英語表現があったり、学校で習った英語は、ネイティブはしゃべらないとか書いてあるのを読んだ時は、目から鱗でした。本は最近のものに興味があります。だんだん情報が古くなって更新されないからです。ただ時代を刻む重要な資料であることには変わらないです。(6年生保護者)

「もっと楽しくなる小説の読み方」に、おもしろくないと感じた作品でも何年か経つとおもしろいに関して、絵本『おおきな木』を読んだときを思い出します。子供の頃は、男の子は(なんて自分勝手なんだ)と思いました。りんごの木から全てを奪ったので、親になるとりんごの木目線になって考えるようになりました。

私もリーダーと同じように先生に質問させて頂きたいです。先生は仕事とは関係なく、本が好きなんだと感じますが、なぜ好きになったと思いますか？機会があつてお会いしたとき教えて頂ければと思います。(1年生保護者)

保護者の皆様方から多くの「声」が寄せられ、とても嬉しく思います。これまでお届けいただきました感想や意見は、今回の号で全て紹介させていただいたように思います。

ご家庭で読書活動に取り組まれている様子やご自分の読書体験等が綴られているものも寄せられ楽しく拝読させていただきました。

7月は、読み聞かせや保護者面談等があり、学校にお越しいただく機会があります。その際は、校長室にお寄りいただき「読書」についてお話できればありがたいです。出張等で不在のときはお話できませんが、お待ちしております。

次号からは、保護者の皆様の「感想欄」を再開いたします。どうかご意見、ご感想をお寄せください。よろしく願います。